

『豊かで健康な生きかたを考える』

— 3年生性教育—

6月19日（水）総合的な学習の時間に、3年生は集団で学ぶ最後の性教育を実施しました。弥栄病院から助産師の平井玲子さんに講師として来ていただき、「命の誕生～出産の現場から～」という演題でお話いただきました。

3億分の1という確率で受精し、出産に至るまでもいくつかの壁があり、「今ここに存在すること」が奇跡のようなできごとである、と改めて意識しました。平井さんの「生まれてこなければよかったという命は一つもない」という言葉を多くの生徒が印象的だと感じていました。

また性行為感染症や人工妊娠中絶といったことについても、実際の現場で直接患者さんに対応しておられる方の言葉は、きっと「授業で習った」だけではない実感のこもる話として生徒の心に届いたと思います。

いよいよ社会に出て自分の力で自分の人生を歩く時期を迎え、パートナーとどのような関係を作っていくか、どうしたら健康で豊かな人生が送れるか、を考える大切な機会になりました。

